

2019年度 I期 実習報告書のまとめ

山梨県薬剤師会
薬学生受入対策委員会

① 感想

- 新しい実習方法により座学がほとんどなくなり、実践が主となりました。実習生にとっては実りの多い実習になったかと思います。その反面、今まで座学で学んでいた内容は「いいの?」と思ってしまう知識面のこともあった。
改定コアカリになり初めての受入れであり、早い段階での対人業務を行う事を意識しすぎてしまいペース配分が難しかった。今までよりも評価が指導薬剤師により差が出てしまうと思われた。
- 大学での事前説明会にて早い段階から実務を中心とした実習を心掛けた。その点では従来の実習よりも学生には良い経験ができたと思います。一方で評価方法とその入力方法は、段階評価と当日入力は十分な理解がなかったため、入力できなかった時もありました。協力薬局に対して事前の協力内容のすり合わせが不足していました。
- とにかく大変でした。通常の仕事とのバランスをとるのが難しかったです。
- 初日から服薬指導に入ってもらいました。座学ではなく実践中心の実習を心掛けました。理解もあり、コミュニケーション力もある学生さんだったので、窓口での服薬指導もStep upしていく様子もみてとれスムーズに実習を行う事が出来たと思います。
- 今回もとても優秀な学生で飲み込みも早く、人柄も良かったのでトラブルなく終わることができた。新コアカリキュラムになり、I期が2月から始まるため感染症の多い時期からのスタートに不安があったが、実際は比較的外来業務が落ち着いていたことからスムーズに入ることができた。新コアカリキュラムへの対応は昨年2名を先行導入で行っていたため、問題はなかった。
- 実習後期に連休があったため、中期以降の実習日程、カリキュラムの微調整変更等少し苦労した。

② 問題点と今後の課題

- 実りの多い実践方式の実習にするためには数多くの経験が必要。時間も必要であり薬剤師が不足している薬局では厳しい。
改定コアカリでは座学やロールプレイは不要と思い準備をしていなかった。単純な処方であっても患者さんが持っている問題点は単純でないこともあるので、全てを実業務、実患者で行うことは難しいこともあったと感じた。
- 評価の入力が当日のみ可能なため、学生の入力を待たずに行わなければならなかった。新コアカリを試すために以前より多くの薬局に協力をしてもらったが、結果的に学生にとっては負担になってしまった。
- 今後は、やはり後任お方に譲っていきたいと思います。
- 受入時期が2～5月で4月の職員移動の時期と重なり、薬局の体制が不安定だったため、学生に不安を与えてしまった。時期を見直した方が良いのではないかと。
- I期の最終週が10連休後の週だったので、指導者も学生も連休明けは少し緊張感に欠ける状態になってしまった気がする。富士ゼロックスのソフトで、実務実習記録による評価を行った日に行わないと評価日がずれてしまうので少し面倒であった。

- ・ 実習生の体調不良等による休みにも柔軟に対応できるよう実習日程の前倒し等も考慮する必要があると感じた。

③問題点・課題の改善点

- ・ 地域薬剤師会の協力体制の整備
今後の薬剤師業務として在宅医療が重要となるので今回の実習では協力薬局への依頼であったので実習日数が少ないと感じた。協力薬局へ依頼し日数を増やしていきたい。
- ・ 協力薬局の数を以前のように少なくするよう心掛ける。
大学側へ実習担当の先生が薬局に来られた際にも伝えましたが、一週間の振り返り(週報)に大学教員のコメントが一度も入らなかった事は、とても残念でした。長い期間の実習なので学生のモチベーションの維持にも役立つと思うので短いコメントで良いので入れてください。
- ・ 特にありません。
- ・ 到達度評価の記入がその日でないと入力できないので後日入力出来る様にしてほしい。
- ・ 今回はたまたま10連休だったが、例年は間に勤務日があるため来年度以降はそれほど気にならないと思う。日程はこのままで問題ないと考えられる。富士ゼロックスの実務実習記録による評価の評価日は評価者が日付を入力できるように改良して欲しい。
- ・ 新コアカリに対応した富士ゼロックスのシステムが以前より使いにくくなったと感じた。

④協力薬局の感想・問題点と改善策

- ・ 往診に同行することで、医師や看護師と直接話をする場を見れたことは、貴重な経験になったのではないかと思う。同行して終わりになってしまったことがあり、処方解析や提案についてもう少し踏み込んだ話が出来ると良かった。
- ・ 短い期間だと同じ患者をフォローしていくことができないので単発のみの服薬指導で終わってしまう事が多いと感じた。なるべく今まで行っていない疾患の服薬指導をやってもらう予定だったが思うような処方が来ずに終わってしまった。
- ・ 初めての協力薬局で、不安な部分が大きかったが、精一杯やれたと思う。
座学と実務のバランスが難しかった。
診療科が偏っているのが難しかった。
LSがガラッと変わった感じで評価が大変だった。
実習前の大学での説明会にて、早い段階から実務を中心にとの要望があったため、各薬局にもその旨をお願いをした。従来では混雑していた時には課題を与え、座学の時間として対応出来ていたが、見学をするだけになってしまう事も多かった。改善策としては、評価項目と各段階で求められているものの事前確認。重点8疾患の確認と各薬局で症例数目標を掲げる事。
- ・ 特にありません。
- ・ 自薬局だけでは出来ない内容を見ていただき感謝しています。学生には協力薬局の数が多く、その薬局ごとのルールに慣れるまで大変だったという意見をもらいました。
- ・ 山梨県薬剤師会及び甲府市薬剤師会の集合研修では学生が集まり親睦を深める良い機会と

なっている。学生の実習に対するモチベーションの維持に繋がっていると思われる。是非、続けていただきたい。

- 今回も実習生からは集合研修・協力薬局での実習どちらも良いとの感想をもらった。指導薬剤師からの評価が遅かったところがあった。

実習生アンケート

長期実務実習 第I期(2019年2月25日～5月12日) 6施設6名

アンケート提出者:5名

病院実習 未:5 済:0

①今回の実習はあなたのニーズにマッチしましたか？

最低 1	2	中程度 3	4	最高 5
				5

未記入:

②指導薬剤師から受けた指導時間についてどうでしたか？

物足りない 1	2	中程度 3	4	充分 5
			1	4

未記入:

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

なし	あり	未記入
4		1

④自分で思い描く薬剤師像と実際の薬剤師像とマッチしていましたか？

かけ離れていた1	2	中程度 3	4	合っていた 5
			2	3

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

なし	あり	未記入	その他
2	2		1

⑥主に実習を受けた薬局の指導薬剤師の対応はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
				5

⑦今回実習を行った他の薬局等での実習はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
			1	4

⑧今回の実習が今後(在学中、卒業後)に役立つと思いますか？

役立つ 1	2	中程度 3	4	役立つ 5
			1	4

コメント部分について

③大学での事前学習・講義など実習での相違点はありましたか？

<あり> 0名

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

<あり> 2名

調剤薬局・ドラッグストア・病院 ⇒ 調剤薬局・病院

薬局 ⇒ 不明

<なし> 2名

まだ、決まっていない。

分からない ⇒ 分からない

⑨今後の実習をより良いものにするためにお聞きします。

・薬剤師としての業務を深く幅広く経験させていただけたことが、非常に良かったです。他にもセルフメディケーションや学校薬剤師等についての実習や、薬剤師会が行っている活動や講演会等にも参加させていただき、知識や経験を深めることができました。

・集合研修で多くの貴重な経験とお話が出来てとても良かったです。

・メインの指導薬剤師が移動になり実習の途中で指導薬剤師が代わった事により、実習環境が変化し大変だった。

・集合研修が多めであった点が良かったです。普段、体験したり見学したり聞いたりできない貴重な機会だったので、地元で実習での出来事を話せる友人ができた事はすごく安心して実習を行う事につながったので良かったです。